

TAKE FREE

ご自由にお持ちください



独立行政法人 地域医療機能推進機構

JCHO 山梨病院 広報誌

患者さんと病院をつなぐ情報誌

# 山病

Yamanashi Hospital

Japan Community Health care Organization

## だより

1月号  
令和6年1月発行  
vol.159

### CONTENTS

#### 03…山梨病院院長 佐藤 公 年頭所感

新入職員紹介  
新しい仲間を紹介します

#### 04…広報・医療サービス委員会だより 朝日通り商店街えびす講祭りに 参加しました

第8回 JCHO地域医療総合  
医学会が開催されました

#### 05…糖尿病診療管理委員会企画 世界糖尿病 DAY 研修会を 開催いたしました

#### 06…糖尿病診療管理委員会より 糖尿病患者は転びやすい

#### 07…薬局だより 骨粗しょう症治療薬について

#### 02…職員の専門性を聴く

## 膵がんの早期発見を目指して

消化器病センター長 深澤 光晴



消化器病センター長 深澤光晴

## 膵がんの早期発見を目指して

2023年4月より消化器病センター長を拝命しました、深澤光晴です。消化器内科の中でも、膵臓・胆道疾患の内視鏡診断・治療を専門にしています。北海道の手稲溪仁会病院に国内留学して胆膵内視鏡手技(超音波内視鏡、ERCP)を学んだ後、山梨大学で14年間、膵疾患・胆道疾患の診療に携わってきました。

膵がんは日本人のがん死亡数の第4位であり、近年さらに増加傾向を示しています。難治癌の代表であり、進行スピードが速いだけでなく早期には症状が現れにくいいため発見が遅れやすいことが知られています。膵がんの予後を改善するには、適切な外科治療および化学療法が必須ですが、何より手術が可能な早い段階で診断することが重要です。

膵がんを早期に診断するためには、健診で無症状の方から膵臓の異常を見つけることや危険因子(新規糖尿病、膵嚢胞、膵管拡張など)を持つ方に対して、適切な膵臓精密検査を行うことが重要です。特に、早期の小膵がんを発見するためには超音波内視鏡が大きな役割を担います。超音波内視鏡は胃カメラの先端にエコーがついた特殊な内視鏡で、胃や十二指腸の中から膵臓を観察することにより、小さい病変を高分解能に描出することができます。さらに、膵臓の腫瘍に針を刺して組織を採取する(EUS-FNA)こともできます。当院では2023年4月から膵臓の超音波内視鏡検査およびEUS-FNAを導入し、膵臓精密検査を積極的に行っています。

膵がんの早期発見には、①無症状の時期に健診で拾い上げること、②CTやMRIで膵がんのリスク所見を指摘すること、③超音波内視鏡やERCPによる病理学的診断の3点が必要です。当院ではこれらすべてを院内で行っていますので、健診センター・放射線・内視鏡・消化器内科・外科・病理の各部門の方々々と連携・協力しながら、膵がんの早期発見・早期治療を目指していきたいと思っています。

膵臓・胆道疾患の診療、消化器疾患の診療を通じて、本院および地域の医療に少しでも貢献できればと考えています。よろしくお願いたします。



# 年頭所感

新年が皆様にとって明るい年になりますことを心よりお祈り申し上げます。

この4年間は新型コロナウイルス感染症に社会も医療も対応を余儀なくされ、心理的にも、物理的にも混乱や制約を強いられました。この間ウイルス変異にも対応して最大で7回の新型コロナウイルスワクチン接種の機会があり、当院としても通常診療と並行してワクチン接種に協力してまいりました。また二次救急医療機関として救急患者の受け入れや年間5万名を超える健康診断や約2万件の上部内視鏡や大腸内視鏡を通じて、“がんを早く見つけて、早くしっかり治す”を実践してきました。山梨県や甲府市の自治体と連携しつつ地域医療を守ることに一定の役割を果たせたものと考えています。当院に限らず新型コロナウイルスが蔓延する中で患者診療の最前線を支えた看護師、医師、事務方、すべてのスタッフを心から労りたいと思います。

ウイルス側の変異や自然感染者の増加やワクチン効果もあって、感染力や重症度にも変化がみられたこともあり、昨年5月には5類感染症へと指定

JCHO山梨病院院長 佐藤 公

が変更されました。これに伴い社会は新型コロナウイルス感染拡大以前に大きく戻りつつあります。ウイルス感染下に利用が拡大したITやAIなどの技術は社会を大きく変化させています。一方、対面で伝わる温もりや安心感は、こうした科学技術とはまったく異質のもののように思われます。コロナ禍の中にあって、大切な人との限られた時間ですら面会を制限せざるを得なかったことを忘れることはできません。新型コロナウイルス感染拡大が私たちに問いかけたことのひとつは、人と人との間の存在、人間の在り方のように思います。

昨年は乳腺センターを開設し、より安心して乳腺疾患の患者様に受診していただける環境を整備することができました。また病理科の常勤医も2名体制となり、より迅速かつ正確な病理診断を提供する体制を構築することができました。今後とも、患者様に親身な医療を提供する機関として職員一同努めてまいります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 新しい仲間を紹介します。 新入職員紹介

### question 質問

- ①趣味 ②特技・こだわり ③性格は
- ④当院に就職するにあたって  
(自己PRを含めて)



### 病理診断科 大舘 徹

①読書、旅行 ②何事も常に学ぶ姿勢を持つことを意識しています。③誠実・謙虚・明朗でありたいと思っています。④病理診断は顕微鏡を用いて標本を観察・診断することが主な仕事です。正しい病理診断が行われないと適切な治療方針が定まりません。自身の仕事の責任の重さを常に感じて、正確な病理診断を皆様に提供できるよう努めて参ります。

3人の職員が仲間になりました。よろしくおねがいします。

### Introduction of new employees



### 消化器内科 飯島 良彦

①野球観戦、ゴルフ、ドライブ ②好きなことにはこだわりが強く、すみずみまで知りたがりです。③よく元気だねと言われます。④高校卒業まで山梨に住んでいました。地元で働くことは長年の目標でした。短い期間ですが、よろしくお願い致します。

### 総務 雨宮 正一郎

①筋力トレーニングです。週5日ジムに通っています。②書道六段。小学生の頃書道を習っていました。③穏やかで落ち着いた方だと思います。④私の強みである正確な作業ができるように頑張ります。よろしくお願い致します。

## 朝日通り商店街えびす講祭りに参加しました

11月23日(木)に行われた朝日通り商店街えびす講祭りに、広報・医療サービス委員会として9名で参加して参りました。当日は晴天でこの時期としては気温も高く、午前中から多くの地域住民の方や家族連れで賑わいました。

人形を使用したAEDと心臓マッサージの体験へ子供から大人まで多くの皆様にご参加頂き、希望者は15時近くまでほぼ途切れることはありませんでした。子供達には本物の聴診器やパルスオキシメーターが好評で、家族や友達同士で音を聞き実際に試して数値を確認しあう姿がみられました。

また白衣を着ての記念写真コーナーでは、幾つかある白衣の中から自分の好みで選び、本物の聴診器を首に掛け病院の旗を背景に嬉しそうに様々なポーズをとる

子供達をみて、ご家族も大喜びされておりました。フィルムの調達が難しく写真をその場でプレゼント出来たのは先着20名のみでしたが、その後も家族揃っての写真撮影をお手持ちのスマートフォンで撮影依頼されることもありました。

栄養補助飲料の展示では、主に高齢者が関心を持たれていました。管理栄養士へ減塩食や糖尿病食についても質問があり、具体的な調理方法や味付けなどへ熱心に聴き入っておられました。

今回の出店は、来場された140名様をはじめ地域住民の皆様から好評をいただき大変有意義なものとなりました。今後もこのような機会があれば積極的に参加させていただき、地域の皆様のための病院として親しんで頂けるよう活動していきたいと思っております。



## 第8回 JCHO地域医療総合医学会が開催されました



当院からは演者を含めて合計11名が参加致しました。

### メインテーマ ポストコロナの地域医療戦略

**シンポジウム:** 多職種間のタスクシェアの実践

**演者:** 桑田 幸子 (JCHO 山梨病院 皮膚排泄ケア認定看護師・看護師長)

**シンポジウム:** JCHOグループにおける身寄りがない人への支援

～医療ソーシャルワーカーによる実践から現状と今後の課題を考える～

**演者:** 中村 成一郎 (JCHO 山梨病院 地域医療連携係長)

# 世界糖尿病DAY研修会 を開催いたしました！

11月14日は、世界糖尿病DAYです。世界中が、食欲を抑えと言われる、ブルーに染まる日でもあります。2023年度、山梨病院糖尿病診療管理委員会では、皆様が糖尿病について理解し、合併症を予防、または悪化させず健康に毎日を送ってほしいと願い、研修会を開催いたしました。

糖尿病診療管理委員会のメンバーである医師が、糖尿病と心臓病、第4の合併症と言われる認知症について、講演をしました。菅又先生は、高血糖がどのように心臓の血管にダメージを与え、心不全に至るのかについて、わかりやすく説明してくださいました。また心臓病の予防となるSGLT2阻害薬の効果について説明、いかに早期からの血糖値の管理が重要か、教えていただきました。下川先生からは、糖尿病になると、アルツハイマー型認知症や脳血管型認知症になる確率が上昇すること。認知症の初期症状には内服管理ができないことが特徴で、過剰に糖尿病薬を内服したり、インスリンの単位を間違えたりすることで、低血糖(50mg/dl以下)になり、心筋梗塞・脳梗塞など重症な合併症を引き起こすことを注意喚起していただきました。

そのほか、アルツハイマー型認知症の早期発見するためのPET検査や新しい治療薬の説明がありました。認知症の相談場所である地域包括センターの紹介や認知症の方への対応方法がわかる、サイト「もしも」の紹介がされました。質問コーナーでは、お茶やサバを食べると認知症の予防につながることを教えていただきました。最後に糖尿病診療管理委員長である菅又先生から「糖尿病について学ぶことが治療の一步」というお



講演1  
糖尿病と心臓病  
循環器内科 医長  
菅又 渉 先生



講演2  
糖尿病と認知症  
脳神経内科 主任部長  
下川 周 先生

言葉をいただきました。糖尿病の知識があると、食事や運動、内服や注射の実施に繋がっていくんだなと感慨深く、その言葉の重みを感じました。心の優しさが伝わる講演を先生方にしていただき、本当に感謝しております。また、参加していただいた皆様、お忙しい中、当院に足を運んでいただきありがとうございました。今回の講演が皆様に役立つことを願っております。

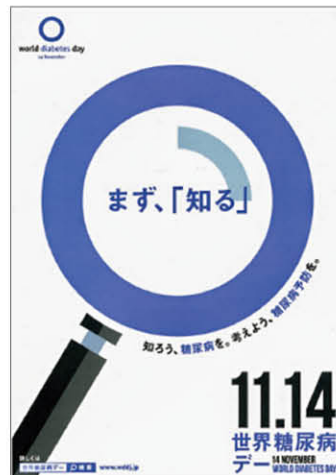
糖尿病診療管理委員会は医師・看護師・管理栄養士・理学療法士・薬剤師・検査技師というメンバーで活動を行っています。ご相談がありましたら、ぜひ活用をお願いいたします。窓口は、糖尿病看護認定看護師ロジャーズに連絡をお願いいたします。



▲院長先生にご挨拶頂きました！



▲認知症のサイト



# 糖尿病診療管理委員会より

私達は、JCHO山梨病院に通っていただいている  
糖尿病患者様の診療の質向上に努めています

## 糖尿病患者は転びやすい!!

- ・高齢の糖尿病患者さんは**年間18%**の方が転倒する!
- ・さらにインスリン療法中の方は健康な方より**2.78倍**転びやすい!

▶ **転倒により骨折などの  
大きなケガに繋がります**

### どうして転びやすいの?

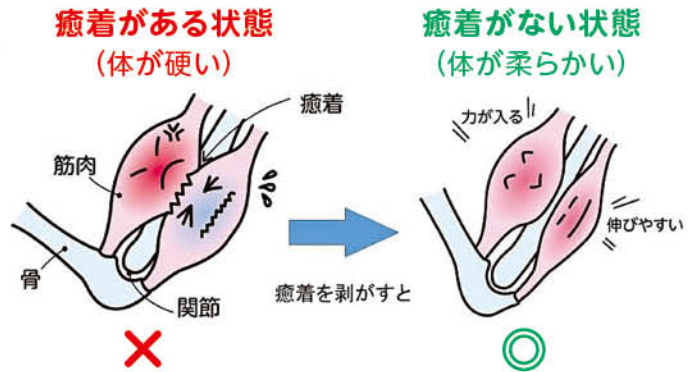
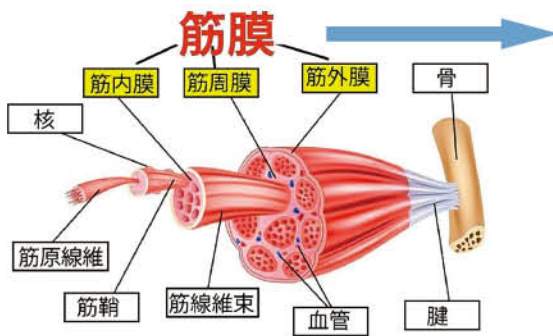
主に・・・

- 糖尿病合併症の1つ末梢神経障害によるバランス不安定
  - 低血糖による転倒
  - 筋肉変性(“量・力・質”が低下)など
- 今回は「糖化」に注目します

### 糖化とは?

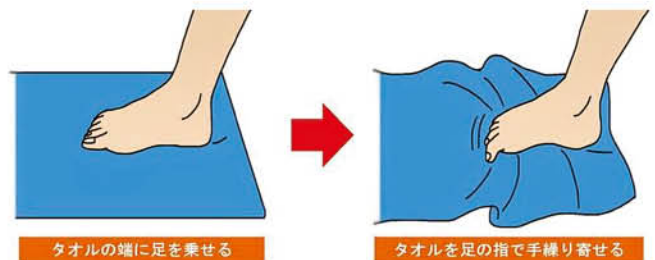
- 運動不足や高血糖により筋肉を覆う膜(筋膜)が硬くなる
  - 筋肉と筋膜の癒着やねじれが起こり、動きにくい体になる
- 特に「足の裏、足の指」が硬くなりやすい!

### 筋肉がどのような状態?



### 予防運動① 【足の指、足の裏】

指の付け根までしっかり動かすことがポイントです!  
→特に親指!! (人間は母指球でバランスをとっています)



### 予防運動② 【全身】

体が硬い人はケガをしやすいです。柔軟性のある体を維持しましょう♪



## 掲載誤りでのお詫びと訂正について

山病だより令和5年7月号 vol.158において  
編集・校正過程で記事を頂きました先生方、薬剤師ご担当の原案と異なる部分があるのご指摘がありました。訂正の上、お詫び申し上げます。訂正箇所について再掲載させていただきます。

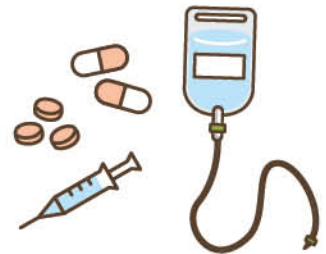
薬局  
だより

# 骨粗しょう症治療薬 について

薬剤部 飯室 仁史

薬剤師として骨粗鬆症治療薬について、患者様や御家族様へのお願いを書かせて頂きます。  
まず治療薬は5つのタイプに分かれます。

- ①骨を壊す働きを抑える薬 (ビスホスホネート:BP薬、デノスマブ、SERM)
- ②骨を作り出す働きを高める薬 (副甲状腺ホルモン薬)
- ③①と②の両方の効果をもつ薬 (ロモソズマブ)
- ④骨の作り替えのバランスを整える薬 (ビタミンD<sub>3</sub>薬)
- ⑤その他 (カルシウム剤、ビタミンK<sub>2</sub>薬) など



分類	主な薬名	主な用法	主な副作用
ビスホスホネート薬	アレンドロン酸錠、リセドロン酸錠 ミノドロロン酸錠、ボンビバ錠・静注	毎月もしくは毎週1回起床時に内服、 毎月1回注射もしくは4週に1回点滴	胃腸障害、食道障害 インフルエンザ様症状
デノスマブ	プラリア	6か月に1回注射	低カルシウム血症
副甲状腺ホルモン薬	テリボン	週に1回注射、週に2回注射	悪心、頭痛、倦怠感
ロモソズマブ	イベニティ	1ヶ月に1回注射	注射部位の疼痛
SERM	ラロキシフェン、バゼドキシフェン	1日1回内服	血栓
ビタミンD <sub>3</sub> 薬	アルファカルシドール、 エルデカルシトール	1日1回内服	高カルシウム血症

このように多様な治療薬があります。

参考文献:臨床雑誌内科 2023;Vol.131 No.4 今日の治療薬2023

my Best Shot!

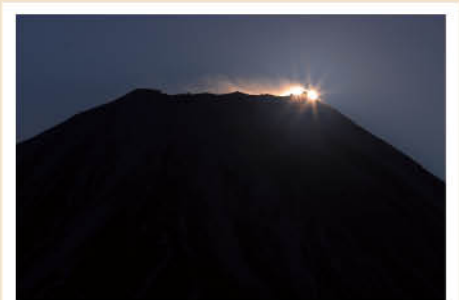


わたしの  
一枚

剣ヶ峰で割れるダイヤモンド富士 (竜ヶ岳で撮影)

カシミール3Dというソフトを使って太陽軌道と撮影場所を計算し、ようやくこのように剣ヶ峰の突起で多分割光芒を放つダイヤモンド富士の撮影が可能となりました。  
この撮影が出来るまでに3年くらい要しています。

撮影:耳鼻咽喉科 医師 吉野 泰弘



# 外来診療担当表

●学会等により、予定が変更になる場合もありますのであらかじめお問い合わせください。

2024年1月現在

	月		火		水		木		金		
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
消化器病センター	内科	しろせ だいもん 白勢 大門	おざわ しゅんいちろう 小澤 俊一郎	しんどう くにあき 進藤 邦明	しんどう くにあき 進藤 邦明	おざわ しゅんいちろう 小澤 俊一郎	ふかざわ みつはる 深澤 光晴	はせがわ ひろゆき 長谷川 浩之	はせがわ ひろゆき 長谷川 浩之	ふかざわ みつはる 深澤 光晴	
		わかお さとし 若尾 聡士		ふるや けいいち 古屋 圭一				さとう ただし 佐藤 公	さとう ただし 佐藤 公	しろせ だいもん 白勢 大門	
	外科	ほそむら なおひろ 細村 直弘		そだ ひとし 曾田 均	そだ ひとし 曾田 均	そだ ひとし 曾田 均	やがわ あきはる 矢川 彰治	おざわ としふさ 小澤 俊総		そだ ひとし 曾田 均	ほそむら なおひろ 細村 直弘
肛門外科							第1・3・4週 ふじい みちたか 藤井 道孝	第2週 しらばた あつし 白畑 敦			
内科	循環器	すがまた わたる 菅又 渉		いしはら つかさ 石原 司	第3週 つちや こうじ 土屋 幸治	はなわ ひろあき 花輪 宏明		いしはら つかさ 石原 司		いしはら つかさ 石原 司	
	呼吸器	かわばた けんいち 川端 健一		さとう あきら 佐藤 明		わたなべ ようすけ 渡辺 陽介		すがまた わたる 菅又 渉		でやまじゅんたろう 出山 順太郎	
	血液	もりさわ ともこ 森澤 朋子		なかざわ まさき 中澤 正樹	なかざわ まさき 中澤 正樹		うちだ よしのり 内田 賢典	もりさわ ともこ 森澤 朋子		いしはら ひろし 石原 裕	
	内分泌・代謝					はやしだりょうすけ 林田 亮佑	はやしだりょうすけ 林田 亮佑				
	脳神経	かりべ わかこ 苅部 和佳子		しもかわ ちかし 下川 周		のだ そのみ 野田 そのみ	のだ そのみ 野田 そのみ			しもかわ ちかし 下川 周	
	膠原病					おぐら たけひさ 小倉 剛久	おぐら たけひさ 小倉 剛久				
	初診外来	ひろせ まさこ 廣瀬 万紀子		うえまつ まなぶ 植松 学		すがまた わたる 菅又 渉		いの ゆり 猪野 友里		あかいかい ゆうこ 赤池 裕子	
乳腺センター		いのうえ しんご 井上 慎吾	のがた ひさし 野方 尚	のがた ひさし 野方 尚	いのうえ しんご 井上 慎吾	のがた ひさし 野方 尚	のがた ひさし 野方 尚	いのうえ しんご 井上 慎吾	いのうえ しんご 井上 慎吾		
※婦人科	はし けいこ 端 圭子	はし けいこ 端 圭子	はし けいこ 端 圭子	はし けいこ 端 圭子	はし けいこ 端 圭子	はし けいこ 端 圭子	はし けいこ 端 圭子	はし けいこ 端 圭子	はし けいこ 端 圭子		
整形外科	あらい けんたろう 新井 謙太郎		ささき しげる 佐々木 茂		あらい けんたろう 新井 謙太郎		第1週 さかくら けんご 坂倉 健吾		ささき しげる 佐々木 茂		
	やました ゆう 山下 佑		第2・4週 やました ゆう 山下 佑		やました ゆう 山下 佑		第2・4週 ふじい はじめ 藤井 肇		やました ゆう 山下 佑		
耳鼻咽喉科	よしの やすひろ 吉野 泰弘			14:00~16:00 いしい ゆうき 石井 裕貴			よしの やすひろ 吉野 泰弘				
皮膚科					ふくしま ゆうき 福島 有貴						
放射線科											

- 初診外来** 内科を初めて、または久しぶりに受診される患者様で、紹介状をお持ちでない患者様は初診外来を受診していただいております。また、患者様の症状により、当日の診察は行わず、専門診療科の予約を取り、後日改めてご来院いただく場合があります。  
※内科以外の患者様で紹介状をお持ちでない方は各科窓口へお問い合わせ下さい。
- 事前予約** 紹介状をお持ちの患者様は地域医療連携室(内線1080 8:30~17:00)にて事前予約が可能です。予約が無い場合には予約がある患者様を優先して診察させていただきますので、待ち時間が長くなることや患者様の症状や当日の混雑状況等により、後日改めてご来院していただく場合があります。
- 再診のみ** 再診患者様のみとなっています。
- 放射線科** 必ず医療機関様から直接放射線科までご連絡をお願いいたします。

※婦人科外来…診療時間 10:30~12:00  
15:00~16:30

**受付時間**

午前	8:00~11:30
午後	診療科によって異なりますので 受付窓口にてお問い合わせ下さい。

休診日…土曜日・日曜日・祝日・  
年末年始(12月29日~1月3日)

※予約患者様は予約時間の30分前に来院して下さい。



看護師募集  
しています

地域に信頼される看護を提供するため、  
患者さんにとってかけがえのない存在になるため…  
そんな、輝き続けられる環境がココにはあります。



笑顔あふれる私たちと  
一緒に働きませんか?



独立行政法人 地域医療機能推進機構  
**JCHO 山梨病院**

〒400-0025 山梨県甲府市朝日3-11-16  
TEL:055-252-8831(代) FAX:055-253-4735  
URL: https://yamanashi.jcho.go.jp/



編集・発行: 独立行政法人 地域医療機能推進機構 山梨病院  
編集責任者: 広報・医療サービス委員会